

What's on Kyodokodo

2009.11.17
No.8



いのちをまもる
PARTNERS
医療安全全国共同行動

- ◆ 成功事例・参考事例を募集しています
→ <http://kyodokodo.jp/> トピックス内
- ◆ 質問・提案をお寄せください
→ advice@ppscamp.net
- ◆ HSMR登録病院・HSMRモニター病院、募集中
HSMR登録病院
→ <http://kyodokodo.jp/hsmr.html>
HSMRモニター病院
→ <https://kyodokodo.jp/partners/index.php>

CONTENTS

医療安全全国フォーラムのお知らせ

- 1 フォーラム・セミナー等のご案内
- 2 「HSMR登録病院」と「HSMRモニター病院」を募集します!
- 3 支援チームからのひとことアドバイス(行動目標3b)
- 4 行動目標4に関してよくある質問と回答をアップしました
- 5 質問・提案等を受け付けています

医療安全全国フォーラムのお知らせ

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”

医療安全全国フォーラム

日時: 11月23日(月・祝) 9:15~17:00 会場: 東京ビッグサイト

<http://forum2009.ppsqsh.net/> ← 最新情報はこちらをご覧ください

- ホームページからの事前申し込み受付は11月18日(水)正午をもって締め切らせていただきます。

*お申し込みはこちらから → <http://forum2009.ppsqsh.net/?act=reg>

[当日参加申し込みについて]

期日までにお申し込みができなかった方は、フォーラム当日に会場受付にてお申し込みください。

受付場所/東京ビッグサイト 会議棟6階 当日参加申込受付のコーナーにて

<http://www.bigsight.jp/general/guide/index.html>

受付時間/8:30~ 参加費/4,000円

※なお、午後のワークショップは席数に限りがありますので、定員を超えた会場については事前申し込み優先となり、ご希望に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。

ホームページにプログラムがアップされています

[おもなプログラム]

- 午前の部: 全体フォーラム「安全な医療をめざして」
 - ・地域フォーラムの報告/地域推進拠点(静岡県、東北地域、栃木県、神奈川県)代表
 - ・8つの医療安全目標を達成するために/技術部会支援チーム
 - ・応援メッセージと音楽の贈り物/川江美奈子(ピアノ弾き語り)
 - ・特別講演「欧州における Patient Safety (患者安全)の取り組み」(同時通訳あり)
/ギンター・ヨーニッツ(ベルリン医師自治機構会長/ドイツ連邦医師会質保証委員長)
- 午後の部: ワークショップ(目標別分科会)

1 フォーラム、セミナー等のご案内

地域フォーラムのご案内

NEW! 医療安全いわて公開フォーラム ～いのちをまもるパートナーズ～

日時: 11月28日(土) 14:00～16:30

会場: 岩手教育会館

主催: (社)岩手県医師会 (社)岩手県歯科医師会 (社)岩手県看護協会
(社)岩手県薬剤師会 岩手県病院薬剤師会 岩手県臨床工学技士会

詳細は [こちら](#) または http://kyodokodo.jp/event_list.html からご覧ください。

8目標に関連するセミナー、シンポジウム、講習会

SimEXPO 2009(目標6に関連)

日程: 11月26、27日 11月25日/プレSimEXPOセミナー

会場: 日本橋プラザ(東京・日本橋) 主催: 日本医療教授システム学会

<http://www.asas.or.jp/jsish/08sim1.html>

NEW! 平成21年度 医療安全に関するワークショップ ～今みつめなおす、医療人としての姿勢～ (すべての目標に関連)

日時: 12月12日(土) 11:00～18:10

会場: 石川県地場産業振興センター 本館 大ホール

主催: 厚生労働省 東海北陸厚生局

詳細は [こちら](#) または http://kyodokodo.jp/event_list.html からご覧ください。

弾性ストッキング・コンダクター講習会 (目標2に関連)

NEW! 日時: 2010年1月23日(土)

会場: アスピラート[防府市地域交流センター](山口県)

日時: 2010年3月20日(土) 会場: 京都会館大会議場

京都講習会のホームページが開設されましたので、ご覧ください。

<http://us-lead.com/sscc-knk/index.html>

主催: 日本静脈学会弾性ストッキング養成委員会

<http://www.js-phlebology.org/japanese/sscc/index.html>

共同行動パートナーズの活動

日本看護協会主催「医療安全推進週間企画展」

期間: 11月2日(月)～11月30日(金)

場所: 日本看護協会ビル3F JNAプラザ

<http://www.nurse.or.jp/facilities/index.html>

テーマ「患者・市民の医療参加」

※展示内容の詳細は日本看護協会公式ホームページをご覧ください。

<http://www.nurse.or.jp/home/event/plaza/index.html>

千葉県看護協会主催

「第5回医療安全大会——医療安全のために今取り組むことは」

日時: 11月27日(金) 10:00～16:00 会場:千葉市民会館

<http://www.cna.or.jp/>

2 「HSMR登録病院」と「HSMRモニター病院」を募集します!

安全の取り組みの効果と改善機会を“見える化”するために、「HSMR登録病院」(どの病院でもご登録いただけます)と「HSMRモニター病院」(共同行動参加登録病院が対象)にご登録いただく病院に対して、DPCデータ(様式1)に基づく標準化病院死亡比(HSMR)を無償で算出し、「HSMR登録病院」には他の病院とのベンチマークを、「HSMRモニター病院」にはベンチマークと自院の半年ごとの変化をお知らせいたします。

*申込み方法等、詳細は、HSMR登録病院 → <http://kyodokodo.jp/hsmr.html>

HSMRモニター病院 → <https://kyodokodo.jp/partners/index.php> からご覧ください。

(締切は11月20日です。早めのご登録をお願いいたします)

HSMR登録病院用データ送付方法については

→ http://kyodokodo.jp/doc/091021_hsmr_touroku.pdf

モニター病院用データ送付方法については

→ https://kyodokodo.jp/partners/091021_hsmr_monitor.pdf

3 支援チームからのひとことアドバイス

行動目標3b 危険手技の安全な実施(中心静脈穿刺)

医療安全はビジネスである ●佐久総合病院 救命救急センター医長 渡部 修

中心静脈カテーテル挿入(CVC)は、NEJMの2003年のレビューでは6.2～19.4%の範囲で合併症が発生するとまとめられました。日本では、最近8年間で29件のCVC関連の報道事例がありました。そのほとんどは死亡事例です。個々の施設内でもCVCの合併症が軽症から重篤なものまで、日常的に多数報告が上がってきます。安全対策部門からは、「どう安全対策を立てたらいいかわからない」「対策を立てても守ってくれない」など、悲鳴(および愚痴)が聞こえてきます。

CVCほど医療安全上の悪条件が重なっている医療処置はまれです。すなわち、標準手技・安全対策・教育プログラムが確立していない、質的ばらつきが大きい、エキスパートグループが形成されない、自分のやり方に固執し推奨する安全対策を順守しようとし、調査記録作成に非協力的である、病院管理者が無関心である、云々…。このような悪条件を前に、嫌気がさして立ち去るのもいたしかたないとさえ思いますが、もし患者、患者家族、医療従事者、病院の利益のために一肌脱ごうという勇気があるなら、嘆いてばかりでは仕方ありません。だがどうしたらいい? この文章のタイトルにあるように医療安全は「ビジネス」だ

と割り切る、そこに活路が見出せます。

ビジネスという概念は金銭目的の活動だけでなく、非営利的な活動も含み、「個人的な感情を交えずに利益の追求のみを目的として進める仕事」を一般的に指します。医療安全活動をビジネスととらえ、悪条件を克服し関係者全員に利益をもたらすビジネスに着手する。これを戦略的に計画し淡々と実行する。そして結果をだす。別に思い悩むことはありません。単なるビジネスです。

さて、このCVC安全対策ビジネスにおける重要な戦略は、この対策を推進する黒幕は安全対策部門でよいとして、作戦実行部隊はCVCのエキスパートチームであるべきだということです。CVC実施頻度の高い若手～中堅医師とベテランをエキスパートチームとして施設内に認知させ、安全対策に配慮した技術研修を主催してもらい、標準手技を確立するとともに安全・確実・迅速なCVCを実践しつつ周囲からの信頼感を得て地位を徐々に築き、安全対策を推進していくことが理想的ではないかと思われます。院長クラスや安全対策部門が旗を振っているだけでは、医者は素直に言うことをきくものではありません。いままでの状態をある程度容認しながら反発を抑え、ボトムからジワジワと安全対策が浸透していけば、いつの間にか反発もなく当たり前のシステムとして定着していきます。その際トップが後ろ盾になっていれば安定した活動が保証されます。さらに共同行動支援チームメンバーに協力を依頼することもできます。

反発と拒絶を招く急激な変革、押し付けは禁物です。成果を上げるまでに時間がかかるのは当たり前ですから、忍耐強くビジネスを継続することが大切です。Good luck to you !!

4 行動目標4に関してよくある質問と回答をアップしました

行動目標4「医療関連感染症の防止」に関するよくある質問と回答をアップしました。公開ページのメニュー「Q&A」の[目標4について](#)からご覧ください。

【中心静脈(CV)カテーテル関連の感染予防について】

Q.1 中心静脈カテーテル関連血流感染予防について、手術室で麻酔科医がCVラインを挿入する場合、マキシマルバリアプリコーションが望ましいとしても、滅菌ガウンの着用まで必要でしょうか？

【人工呼吸器関連肺炎(VAP)の予防策について】

Q.2 人工呼吸器関連肺炎の予防について、標準予防策や吸引時の清潔操作、体位変換など一般的な対策は行っていますが、VAP予防策に特有な推奨事項があれば教えてください。

【感染経路別予防策の実施について】

Q.3 毎年の標準予防策を含め、感染経路別予防策の繰り返し実施による効果はどのくらいあるのでしょうか？

[PPEの着用法について]

Q.4 PPEの着用法について、病床数（職員数）の多い病院ではどのように推奨したらよい
か、実施方法を教えてください。

[国のMRSA感染対策について]

Q.5 MRSA感染対策として、監視培養を行うことがよいことは理解できますが、病院経営
上不可能と思われます。もし国の施策として法律で義務付けられ、保険請求ができ
ることになれば、MRSA感染対策は進むと思いますが、いかがでしょうか？

[チャレンジについて]

Q.6 行動目標にある「チャレンジ」とは、何をすればよいのでしょうか？

*行動目標に関して皆さまから寄せられる質問のうち、よくいただく質問と支援チームから
の回答を公開ページに掲載しています。

*内容によってはパートナーズ専用ページ（非公開、参加登録病院が対象）のみに掲載いた
します。

5 質問・提案等を受け付けています

皆様からのご質問やご提案、ご報告を下記のメールアドレスまでお寄せください。

→ advice@ppscamp.net

パートナーズ専用ページや公開ページに掲載させていただくほか、質問内容によっては、
支援チームによる公開電話相談会を開催いたします。

共同行動キャンペーンポスターをご利用ください

- 医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”（日本版100K）
→ 公開ページ…[トップページ](#)
→ パートナーズ専用ページ…[トップページ](#)
- 行動目標別キャンペーンポスター基本デザイン（目標1～目標8）
→ パートナーズ専用ページ…[トップページ](#)
- 行動目標別キャンペーンポスター完成見本（目標1～目標8）
→ 公開ページ…[トップページ](#)
→ パートナーズ専用ページ…[トップページ](#)

★次週のウェブマガジン What's on Kyodokodo は、全国フォーラムの特集号です。
11月27日（金）の配信となります。院内にて掲示・回覧・配布等、ご活用ください。

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”
ウェブマガジン What's on Kyodokodo 編集室

〒102-0082 東京都千代田区一番町13-8 一番町KKビル3階 社団法人日本病院会内
TEL. 03-6380-9370 FAX. 03-6380-9371

E-mail: secretariat@kyodokodo.jp URL: <http://kyodokodo.jp/>